



Vol.91

2012年 5月号

ぐらぶあ

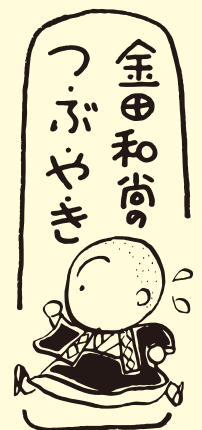
ふみだそう、福祉でまちづくり

防災ずきん作りから広がる絆



塩沢区会・塩沢区福祉部会・塩沢区やつがね会の共催により、防災ずきん作り講習会が開催されました。東日本大震災での避難経験から「JA新ふくしま女性部」のみなさんが作った防災ずきん。記事が載っていた雑誌を目にした「やつがね会」のメンバーが、自分たちも作ってみようと思ったことがきっかけでした。今、防災ずきん作りをとおして区民同士をつなげ知り合うための活動が始まりました。詳しくは2面・3面をご覧ください。

茅野市の行政アドバイザー松井和先生の著書より「絆」「幸せ」のヒント。



○人間は本来、不自由なことに「幸せ」を感じてきました。それを「絆」と呼ぶのです。

○自由、自立という言葉の先にあるのは自己責任。「絆」が周りになると、往々にして自己責任は自己嫌悪につながります。

○悲しみや不幸は決して同質ではない。悲しみを分かちあう、実感しあう。そのことが楽しみを分けあうよりはるかに「絆」を深めることがあります。

○不安になったら助けてくれる人や相談相手がいる。これが「生きる力」です。

○「生きる力」とは個人の自立を目指すことではなく「絆」を作る力です。信じあい、頼りあうことが「生きる力」です。

○人間は「絆」がないと生きていけない。しかしその「絆」が悲しみさえも分かちあう深いものでなければ「幸せ」にならない。

塩沢区の取り組みは「絆」で「幸せ」な地域を目指している。みんなの顔が見える安全で安心な住んでよかった地域となるようにつとめます。

～つなげる～

地域の絆

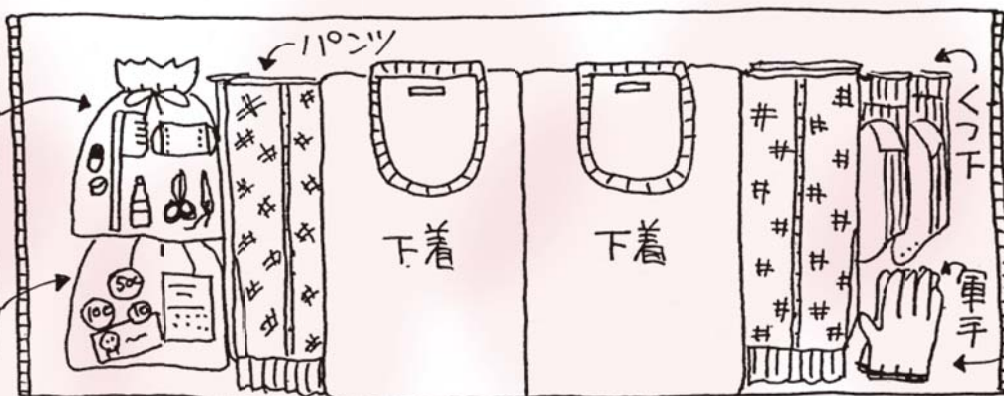


フェイスタレに縫いつけたものを縦に2つ折りにしたバスタレにはさんで作ります。使いたい時に手で引っ張ればすぐにほどけるように、しつけ糸でざっくり縫いつけます。

《中身の例》

- ・歯みがきセット
- ・裁縫セット
- ・マスク
- ・カイロ
- ・薬 など

- ・小銭
- ・保険証コピー など
- ・細かいものは巾着に入れる



軍手は外に安全ピンでとめておく。

塩沢区福祉部会では、日頃からの活動でひとり暮らしの方や高齢者世帯、障害者世帯を気かけ、声がけや見守りを始めています。各家庭をまわって歩く中で、区民みんなが『知り合う』ことが大事だと気づきました。防災ずきん作りは様々な世代の区民が一同に集まり、顔をあわせ、言葉を交わすことで、世代を超えて『知り合う』を広げる活動の場となっています。



おれを並べて聞くような難しい話はわからないけど、こうやって普段やっていることなら、みんなも「いいことだなあ」と言って集まってくる。今日は、「やっかね会」だけじゃなくて、それ以外の人も来てくれてうれしいよ。



「地域の結びつきが大切」ということはわかっていても、話を聞いただけじゃ「絆」なんてできるもんじゃないよ。男の人は、お酒を飲んだり、会合なんかで仲間になれるけど、女の人は、こうやって集まって手を動かしてりゃ、自然とじいさんや孫や家族の話になる。そうやって、結びついていくからね。



平成24年度 茅野市社会福祉協議会の事業と予算

今年度、茅野市社会福祉協議会では、社協情報紙「やらざあ」、ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」などで福祉の情報をお伝えしながら、市民一人ひとりを大切に総合的な地域福祉の推進を目指して下記の事業に取り組みます。



予算総額 307,965千円



福祉を支えるための

総合支援・応援体制づくりを推進します

社協体制の充実や、課題解決のために総合的に支援、応援できる体制づくりを行います。

(75,640千円)

- ・行政機関、福祉関係団体等との連携強化
- ・理事会・評議員会の開催
- ・社協会費の加入促進
- ・社会福祉大会の開催
- ・社協の総合的な防災マニュアルの策定
- ・社協強化発展計画の策定
- ・社協情報紙「やらざあ」の発行
- ・社協のPRの充実
- ・総合相談（心配ごと相談、結婚相談、司法書士の法律相談、あなたと家族の悩み相談）
- ・低所得者世帯等への生活福祉資金・暮らしのつなぎ資金の貸付

など

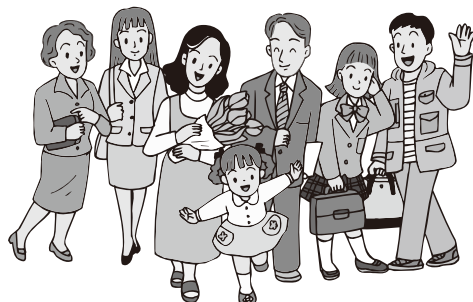
ボランティア・市民活動（市民力）を 推進、支援していきます

子どもから大人まで福祉の心を育む機会づくりや、ボランティア活動者の応援・支援、情報発信などを行います。

(16,302千円)

- ・地域・学校などでの福祉講座・福祉教室の開催
- ・ボランティア・市民活動の推進、支援、ネットワーク作り
- ・地域のボランティアグループ活動や地区への支援や協働
- ・ボランティア・市民団体等との連携、協働
- ・災害救援ボランティアセンター機能の充実
- ・いきいきサロン活動推進
- ・ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」の発行

など



みなさんの地域づくりを応援します

子どもから高齢者まで全ての人が安心して暮らせる地域づくりの支援を行います。

(19,819千円)

- ・個別訪問支援・応援活動
- ・地区社協・福祉推進委員の活動支援
- ・買い物や見守りなどのニーズを把握し、支援できる体制づくりの推進
- ・地域活動支援センターの運営
- ・ホームヘルパー2級養成講座の開催
- ・共同募金の各地区の団体助成、高齢者・障害者・児童青少年・住民全般の福祉活動への助成

など

一人ひとりを支え、応援します

住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう一人ひとりにあった支援を行います。

(32,180千円)

- ・移送サービス
- ・「おたつしゃ弁当」配食サービス
- ・独り暮らし安心コール（電話による定期的な安否確認）
- ・シャララほっとサービス（社協会員同士の生活支援サービス）
- ・日常生活自立支援事業の推進（判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助・金銭管理・書類預かり支援）
- ・介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）
- ・家庭介護者“いこいの集い”の開催
- ・希望の旅（障害者の日帰りバス旅行）

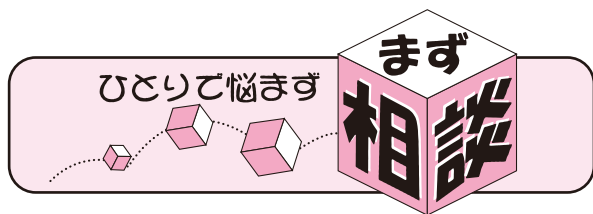
など

“心のこもった”介護サービスを 提供します

高齢者や障害者の自立支援のために、より良いサービスが提供できるよう資質向上に努めていきます。

(164,024千円)

- ・居宅介護支援・介護予防支援事業
- ・訪問介護・介護予防訪問介護事業（2ヵ所）
- ・通所介護事業・介護予防通所介護事業（西部デイサービスセンター）



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください
毎週金曜日 午前9時～正午
相談員：心配ごと相談員
心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口
毎月第1・3土曜日
午後1時～午後4時
第2・4金曜日
午後6時30分～午後8時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談
毎月第2水曜日 午後3時～午後5時
相談員：司法書士 予約電話／73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
ご相談ください
毎月第1月曜日 午後2時～午後4時
相談員：ボランティア
直通電話／82-0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.91
2012年 5月号

2012年5月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会
編集／やらざあ編集委員会
〒391-0002 茅野市塚原2-5-45
TEL (0266) 73-4431
FAX (0266) 73-8030
URL: <http://sharara.or.jp>
E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・「震災からの1年」を興味深く読ませていただきました。(がんばろう日本!!)で国民みんなが手をつなぐ時だと思います。私も自分でできることから応援していきたいと思っています。

(60代女性 湖東)

・なかなかボランティア活動ってできないです。

やってみたいとは思いますが…。(40代女性 湖東)

・前号の表紙の写真。春の息吹が感じられて素敵でした。

(70代女性 宮川)

・「金田和尚のつぶやき」の暴走族の少年がボランティア活動を始めたというお話には感銘を受けました。暴走族の子供は実際は優しくてさみしがり屋が多いものです。(70代男性 湖東)

・なぞなぞを読みながら、家族で「なんだろう」「むずかしいよね」と話しながら考えました。いろいろ言いながら楽しかったです。

(20代男性 宮川)

今回は

クイズ

八ヶ岳



八ヶ岳のふもとに住む私たち。皆さんは八ヶ岳の峰の名前を知っていますか？次にあげた山の名前の中で八ヶ岳連峰でないものはどれでしょうか？

1 硫黄岳 2 権現岳 3 蓼科山 4 天狗岳
5 編笠岳 6 西岳 7 横岳 8 北山
9 永明寺山 10 阿弥陀岳 11 赤岳 12 茶臼山

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代) 電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

5月末日

3月号の正解は9番です

当選者 3名の方

遠藤理仁さん(宮川) 後藤友子さん(宮川) 上村昌子さん(湖東)

募集

結婚相談所 相談員募集！

～すてきな出会いのお手伝いをしてみませんか～

昨今話題になっている、婚活。諏訪地方でもたくさんのイベントが行われています。茅野市社会福祉協議会では、結婚相談日を設けて結婚を希望されている方の結婚活動の応援をしています。一緒にお手伝いいただける「結婚相談員」の方を募集しています。

対象 市内に在住する方で結婚支援に熱意のある方
期間 平成26年3月まで(以後3年更新)
申込方法等 茅野市社会福祉協議会へ直接ご連絡ください。
一緒に相談事業を進める相談員の方々と面談の後、採用者に委嘱状を交付いたします。
(面談の日時は応募者へ直接ご連絡いたします)

申込締切 5月18日(金)

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。